

令和 3 年度 学校経営計画表

1 学校の現況

学校番号	5 5	学校名	茨城県立竜ヶ崎第二高等学校					課程	全日制			学校長名			磯山 佳美			
教 頭 名	細矢 英三										事務（室）長名			石田 早苗				
教職員数	教諭	3 0	養護教諭	1	常勤講師	2	非常勤講師	4	実習講師	1	事務職員	3	技術職員等	5	計	4 9		
生徒数	小学科		1 年		2 年		3 年		4 年		合計		合 計 クラス数					
			男	女	男	女	男	女	男	女	男	女						
	普 通 科		2 6	5 3	2 9	5 1	2 8	4 2			8 3	1 4 6	6					
	商 業 科		1 9	2 1	2 2	1 8	1 9	2 4			6 0	5 6	3					
	人間文化科		0	3 9	0	4 0	1	3 6			1	1 1 5	3					

2 目指す学校像

- 1 社会に開かれた活力と意欲に満ちた学校
- 2 確かな学力と豊かな心、健やかな体を育成する学校
- 3 社会の諸課題に対応して生き抜く力を備えた人材が育成される学校
- 4 望ましい勤労観、職業観を持ち、地域社会を担うために必要な資質能力を身に付けた人材が育つ学校

3 現状分析と課題（数量的な分析を含む。）

項 目	現状分析	課 題
学習指導	① 校内の I C T 教育環境（Wifi 環境、電子黒板、教員用端末等）が整備された。 ② 授業時間の確保と授業内容の工夫・改善を行うことにより、生徒の学習意欲を向上させる必要がある。 ③ 家庭学習に費やす時間が少ない生徒が多い。 ④ 基礎学力が十分定着していない生徒が見られ、個に応じた学習指導を進めるための手立てが必要である。 ⑤ 放課後及び長期休業中の課外参加者が少ない。	① I C T 環境を生かした教育活動を展開するための研修を実施するなど、I C T 機器の活用促進を図る。 ② 主体的・対話的で深い学びの実現に向けて、授業における言語活動を活発化し、授業への参加意識を高める。 ③ 学校生活等を記録する手帳の積極的な活用により、学習意欲及び学力の向上を図るとともに、家庭学習の定着を図る。 ④ 基礎学力の定着していない生徒への個に応じた学習指導を工夫する。 ⑤ 放課後及び長期休業中の課外への参加を促すため、低学年からのキャリア教育の充実を図り、早い段階から積極的な働きかけをする。
進路指導	① 1・2 年生の進路意識は、入学時より 3 年間を見通した進路指導計画を立てることで徐々に向上しつつある。 ② 大学進学者数が横ばいであり、専門学校進学を安易に考える生徒も見受けられる。進路意識の向上と先を見据えた進路指導が必要である。 ③ 就職希望者に対するサポート体制の充実が必要である。	① 第 1 希望の進路実現を達成するため、将来を見通した 3 年間の組織的・系統的なキャリア教育体制を構築し、計画的な進路指導を展開する。 ② 上級学校進学を目指す生徒に対しては、早い段階から手をかけ、外部と連携した課外指導の充実と、長期休業中の効果的な進路指導対策を講じる。 ③ 就職希望者及び保護者に対する面談を充実させると共に、各種資格試験の合格率向上に向け、継続的・実践的な指導を行う。
生徒指導	① 基本的な生活習慣にかかる指導（身だしなみ・あいさつ・清掃・時間を守る）は継続した指導が必要である。 ② 生徒と教師の良好な関係づくりに努め、いじめ問題の早期把握・未然防止を図るための手立てを講じる。 ③ 自転車による交通事故が多く、注意喚起が必要である。 ④ 多くの生徒が経済的理由によりアルバイトをしており、学習活動や部活動、進路活動にも影響を与えている。保護者と協力した適切な対応が必要である。	① 遅刻指導や服装指導を徹底し、基本的な生活習慣を確立させる。 ② 定期的、随時の面談とアンケート調査を実施するとともに、定期的に「いじめ防止対策推進委員会」を開催し、生徒の実態把握に努め、全教職員で情報の共有を図る。また、積極的にスクールカウンセラーを活用する。 ③ 自転車通学者に対しては運転ルールを厳守する意識を高揚させ、命の大切さの理解を促し、交通事故防止に努めさせる。 ④ 経済的事情でアルバイトをする生徒に対しては、目的を見失わないよう学校と保護者の協力のもと適切な指導を行う。
特別活動	① 生徒会活動を更に活性化する方法を講じる必要がある。 ② 部活動の加入率は約 3 割弱である。また、年度途中で退部する生徒もいる。部活動への興味関心を高めるための更なる対策が必要である。 ③ 地域活動への積極的な参加を推進し、地域社会や地元小・中学校及び大学との連携を強化する必要がある。	① 主体的に企画し行動する生徒会役員並びに実行委員会委員の育成を推進する。 ② 部活動加入率向上に向け、あらゆる機会をとおして部活動への加入の呼びかけや活動実績などの報告により、生徒の興味関心を高める。 ③ 龍ヶ崎小学校及び美浦特別支援学校との連携事業をはじめとし、地域のボランティア活動やリーダー研修会などへの積極的な参加を促進する。
働き方改革	① 校務について偏りの解消、精選、効率化が必要である。	① 全職員が柔軟に学校運営に関わる組織体制を構築するため、校務分掌を細分化するとともに、業務の見直しや会議の効率化を図る。

4 中期的目標

- (1) 学校・家庭・地域社会の連携協力の推進により、社会に開かれた活力と意欲に満ちた学校づくりを図る。
 (2) 教育活動の改善充実により確かな学力を育み、生徒会活動、部活動、ボランティア活動等の体験的活動の充実を通して豊かな心と健やかな体を育てると共に、組織的な進路指導体制の構築を図る。
 (3) 基本的生活習慣を確立させ、規範意識の向上および安全教育の徹底を図りながら、社会の諸課題に対応して生き抜く力を育む。
 (4) 地域社会との連携した取組推進のために外部機関との連携を強化し、地域社会の振興に貢献できる資質能力を育てる。
 (5) 学校における働き方改革を推進し、ワークライフバランスの実現に向けた環境整備に努める。

5 本年度の重点目標

重点項目等	重点目標
確かな学力の育成	① 基礎学力の向上を図る授業の実践と I C T機器の活用促進 ② 主体的・対話的で深い学びの実現を目指した授業改善への取組 ③ 教科等を横断した探究活動を通した課題解決能力の育成
生徒の希望や目標の実現	① 将来を見通した 3 年間の組織的・系統的なキャリア教育体制の構築 ② 資格試験の受験支援や課外活動の充実
社会で活躍するための基礎的な力の育成	① 生活マナーや規範意識の向上と安全能力の育成 ② H R ・生徒会活動への支援や学校行事の充実 ③ 面談や定期的なアンケートの実施と教育相談の充実
社会に開かれた魅力ある学校づくり	① ボランティア活動および地域の活動への積極的参加 ② 近隣中学校や地域等への教育活動の情報発信 ③ 地域と連携した取組推進のための外部機関との連携強化
教職員の働き方改革への取組	① ワークライフバランスを意識した教職員の業務改善 ② 取組についての生徒、保護者等への周知

【数値目標等】

- ・各教科による I C T機器を活用した校内での授業公開 実施率 100%
- ・地域と連携したボランティア活動に関する学校ホームページ掲載回数 6 回
- ・超過勤務時間 45 時間／月を超える教員の解消